

大津市木造住宅無料耐震診断申込書

申込方法

無料耐震診断をご希望の方は、まず『無料耐震診断の対象となる建物』であるかをご確認ください。条件に合えば、裏面の『簡易自己診断表』で事前に自己診断を行い、このパンフレットの申込書に必要事項と自己診断で求めた評点及び付近見取図を記入のうえ、必要書類を添付して建築指導課窓口まで提出してください。（必要書類は、裏面申込書の添付資料欄をご覧ください。）

無料耐震診断の対象となる建物

以下の全ての要件を満たすもの

- ①大津市内にある住宅
- ②昭和56年5月31日以前に着工され、完成しているもの。
- ③延べ面積の過半の部分が住宅の用に供されているもの。
- ④階数が2階以下かつ延べ面積が300㎡以下のもの。
- ⑤木造軸組工法（右イメージ）で建てられた住宅。
- ⑥大臣等の特別な認定を得た工法による住宅でないもの。
- ⑦過去に「大津市既存建築物耐震診断補助制度」及びこの制度に基づく耐震診断を実施したものでないこと。

申込者 対象住宅の所有者



木造軸組工法のイメージ

無料耐震診断の流れ

申込: 申込書を記入して建築指導課窓口へ提出してください。

確認: 申込内容に確認事項があれば申込者に建築指導課から電話等にて確認させていただきます。

決定: 書類審査後、市から決定通知を申込者に送付します。

日程: 委託を受けた診断員が日程調整のため電話をいたします。

現地調査・立会: 診断当日は、原則として図面を用意し、天井裏点検口等を点検できるように準備して、診断に立ち会ってください。

結果: 診断結果を判定した後、診断員が申込者に結果を報告します。

※申込みから結果報告までには、2～4ヶ月かかります。

耐震診断Q & A

Q. 現地調査はいつ頃？

申込書を受理し決定通知を送付した後、耐震診断員が現地調査の日程調整をいたします。

（申込後、約1ヶ月～2ヶ月半）

Q. 簡易自己診断と大津市木造住宅耐震診断との違いは？

大津市木造住宅耐震診断は、専門家が現地調査のうえ、地震による建物の耐震性を計算により検討し判定します。

Q. 簡易自己診断の総合評点は申込みに関係あるの？

簡易自己診断の結果は参考であり、簡易自己診断の結果によらず大津市木造住宅耐震診断を申し込みます。

Q. 診断結果が悪かったらどうしたらいいの？

建築した施工業者等に補強工事のご相談をしてください。建築指導課窓口でも、精密耐震診断や無料診断結果に対するアドバイスも行なっています。

耐震診断の内容等に関するお問い合わせは……

大津市都市計画部建築指導課（市役所本館3階）

〒520-8575 大津市御陵町3-1

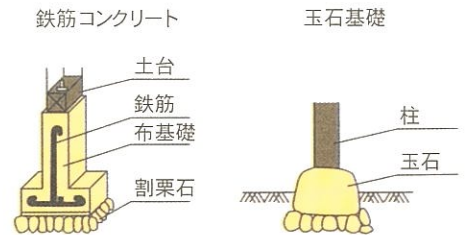
電話：077-528-2774（直通）

わが家の耐震診断表

表から数字を選び、評点A～Fに記入してください。

A 地盤と基礎 地盤の状況と基礎の形状により該当する点数をつけてください。

基礎 \ 地盤	普通 良い	やや 悪い	非常に 悪い
鉄筋コンクリート造の連続した基礎	1.0	0.8	0.7
鉄筋がないコンクリート造の連続した基礎	1.0	0.7	0.5
ひび割れのあるコンクリート造の連続した基礎	0.7	0.5	0.4
その他の基礎（玉石・石積・ブロック積）	0.6	0.4	0.3



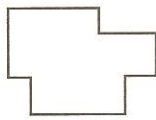
評点 A

B 建物の形

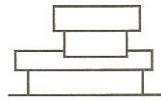
建物を上から見たとき、おおよそ四角いか、凸凹しているかで判断してください。建物を横から見たとき、2階が1階より張出しているところがあるかで判断してください。

上から見ても横から見ても整っている

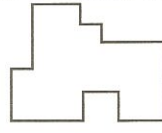
上から見て凸凹している



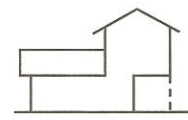
1.0



0.9



1階に壁のない空間がある



0.8

C 壁の配置（バランス） 該当する点数をつけてください。

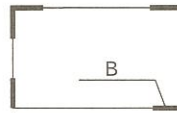
全ての外壁面で壁が1/5以上

一部の外壁面で壁が1/5未満

一部の外壁面で壁が全く無い（全開口）



1.0



0.9



0.7

D 壁の筋かい 該当する点数をつけてください。

筋かい
あり

1.5

筋かい
なし・わからない

1.0



筋かいとは左図に示すような斜材です。現状ではわかりにくいと思いますが、工事中に確認したとか、建物のどこかにあればありとし、そうでなければなしとしてください。

評点 D

E 壁の割合 該当する点数をつけてください。

平屋	2階建	平屋	2階建	平屋	2階建
1.5	1.2	1.5	1.0	1.2	0.7
1.0	0.5	0.7	0.3		

評点 E

左図を参考にして壁の割合をおおまかに判断し、図の下の数値を評点としてつけてください。

F 建物の傷み具合（老朽度） 該当する点数をつけてください。

健全	新築時の良い状態が続いているもの。	1.0
老朽化している	屋根の線や軒先の線が波打っているもの。 柱に傾きがあり、建てつけが悪くなっているもの。	0.9
腐ったり、シロアリに喰われている	土台をドライバーで突いてみて、ガサガサになっている。（特に建物の北側と風呂場周り）	0.8

評点 F

上の評点A～Fをかけ合わせて総合評点を出しましょう。

総合評点

点

評点A×B×C×D×E×F＝総合評点
例) 0.8×1.0×1.0×1.5×0.7×0.9＝0.756

総合評点	判定	今後の対応
1.5以上	安全とされます。	家具の転倒防止など、家庭でできる防災対策を進めてください。
1.0以上～1.5未満	一応安全とされます。	念のため専門家の耐震診断を受ければなお安心です。
0.7以上～1.0未満	やや危険です。	専門家の耐震診断を受け、耐震性を確認してください。
0.7未満	倒壊又は大破壊の危険があります。	

付近見取図（公共施設等から所在地までがわかるように記入してください。）

※住宅地図等をコピーしてくださっても結構です。